第07回　環境振動性能評価小委員会　議事録（案）

A. 日　　時　2014年8月26日火曜日　　　17時30分～19時30分

B. 場　　所　本会会議室

C. 出 席 者　松本主査、他10名

D. 提出資料（提出委員名も記入して下さい）

No.07-01：第06回環境振動性能評価小委員会　議事録（案）

No.07-02：大会論文梗概まとめ（歩行振動をキーワードに抽出、一部風揺れあり）

No.07-03：International Standard 6897

No.07-04：Occupant comfort in wind-excited tall buildings: Motion sickness, compensatory behaviors and complaint

No.07-05：ISO 10137:2000 Annex C, Examples of vibration criteria

No.07-06：環境振動性能評価小委員会メモ

No.07-07：超高層集合住宅における2011年東北地方太平洋沖地震次のアンケート調査および振動台搭乗実験に基づく地震時の避難行動不可能率

E. 審議事項

1. 議事録確認

資料07-01「第06回環境振動性能評価小委員会　議事録（案）」について報告

※　前回委員会議事録内容の確認

→　出席者欄等の修正の後、承認された

2. 運営委員会報告

A）環境振動シンポジウムについて

→　環境振動評価小委員会からの発表は、この1年間での活動報告がメインとなる予定

3. 議論

A）　資料07-02「大会論文梗概まとめ」について報告

→　歩行動作により生じる床振動の特性について（床振動の大きさは二人歩行時には一人歩行時に比べて一人歩行のルート2倍となる等）

→　構造や床の特性により揺れ易いショッピングモール等もあり（特に宝飾品売り場や記帳を要する用途にてクレームとなる事案が指摘されている）

B）　資料07-03「International Standard 6897」について報告

→　ISO6897 に関する定期見直しに向けてのコメントを今後募集する

→　本小委員会でも意見を寄せる必要があるか今後検討

C)　資料 07-04 について報告

→　ニュージーランドにおける高層建築物利用者を対象とした調査

→　風や地震に起因すると思われる振動に関して各種アンケートを行った

D)　資料 07-06「環境振動性能評価小委員会メモ」について報告

→　刊行物に関しては評価指針と設計指針は分けて考える方向で進める（ただし、評価・設計両者を併せて大枠で捉えておく必要もあると思われる）

→　評価指針に関しては、居住者・使用者の評価軸と性能値軸の両軸の構成で検討する

→　ただし、評価軸およびその際に適する性能値軸は複数の項目にて検討する必要が示唆されるゆえに、複数のレイヤ的な評価軸を準備する必要があるものと思われる

→　居住者の評価軸に関して、どのような項目（振動知覚・不快・酔い・不安・恐怖、建具等の揺れ・作業性・音など）を検討する必要があるのか？

→　性能軸に関しては、振動の大きさ・振動の暴露時間等を考慮、さらに評価軸の種類によって振動の大きさを表す尺度等も細分化して検討する必要がある

→　知覚閾以下の揺れ（精密機器等対象、個別対応することがほとんどか？）、建具の揺れ（動的特性の把握は人体応答に関する評価にはそぐわないが、転倒等による避難阻害等は要件等か？）

E)　資料 07-07 について報告

→　超高層住宅を対象とした地震時避難難度に関する研究、振動の大きさを加速度尺度とすると行動難度は振動数成分の変化に依存しない（すべての振動数でほぼ同じ行動難度となる）

3. 次回以降の課題

※　「居住性能評価指針」と「設計指針」の位置づけについて

※　評価指針への提言

※　環境振動に関するホットな話題を随時募集

※　評価 WG での活動内容の報告

次回の当委員会は、2014 年 11 月 10 日（月曜日）17 時 30 分より本会会議室で開催します。

資料を提出される方は、あらかじめ準備(14 部)されるか、もしくは 2 日前までに本小委員会のオンラインストレージまでアップロードお願いいたします。